公益社団法人 府中市シルバー人材センター広報紙

ふれあい

2012年9月
現在の会員数
男性 1,390名
女性　564名
合計 1,954名

2012年/11月
135号

題字　府中市長　高野律雄　書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2　ふれあい会館2F/TEL042-366-2322





市長とセンター役員の懇談会

●目　次

■市長とセンター役員の懇談会 …… 2
■女性委員会視察研修 …… 2
■商工まつりに参加して …… 3
■財団「安全大会」に参加して …… 3
■安全推進大会に参加して …… 3
■働く会員の職場訪問 …… 4
■ゆうゆう便り …… 4
■交通安全パレード …… 4
■住吉・片町・武蔵台・四谷地域懇談会… 5
■是政地域懇談会 …… 6
■けやき並木ボランティア清掃 …… 6
■パソコン無料講習会 …… 6
■こんな会員は困ります …… 7
■お知らせ・編集後記 …… 7

高野市長とセンター役員との懇談会

厳しい残暑が続く8月15日(水)、ふれあい会館6階第1会議室において市長とセンター役員との懇談会が高野市長、芦川福祉保健部長とセンター役員出席のもと、渋谷事務局長の司会で開催されました。本間会長より「新名誉会長として、センターの運営に今まで通りのご理解とご協力をお願いいたします。会計制度の改正、適正就業指導等により、センター運営は厳しい状況となっていますが、会員と共にこの難局に立ち向かって行きます。」とあいさつの後次の要望をしました。

①健康で働くシルバー事業推進のための補助金の確保。
②市の事務事業の再点検により、公共事業の優先発注。
③老朽化に伴う「ワークブランチ」の移転施設の無償貸与に特段の配慮。

引き続き市長からは、「初めての懇談会へのお招きありがとうございます。シルバーの理念には共働・共助があり、自然災害が発生した時、自分の身は自分が守るという「自助」と、近くの人が互いに助け合う「共助」が必要となります。市民のお力をお借りしながら、災害に強く笑顔のある府中のまちづくりを目指したいと考えています。同時に、今後の運営への支援にも努めて参ります。」と思いやりのあるごあいさつをいただきました。

そして、三常任委員会委員長から市長への要望事項を発言。

●棟方総務委員長
①会員の増強並びに研修の場と市施設の使用にご配慮を。
②女性会員の増強と就業機会拡大に就労可能な市業務の見直し。
③社会奉仕活動へ参加のため、市と協働できる活動の情報提供と参加の呼びかけ。
④市民との交流事業を促進するため、府中文化振興財団等市関係団体との協力。

●小林業務委員長
①新規事業「お助け隊」活動へのご理解・ご協力。
②市発注業務の拡大、随意契約、緊急雇用対策事業の継続的発注。
③会員の安全就業のための市担当による安全講座、講習会の開催。

●三坂広報委員長
①広報紙「ふちゅう」への掲載に便宜拡大。
②センター主催事業等に市長の参加、顔見せ。

以上の要望に対して、市長からは、実現へ前向きに努力をします。センター参与の福祉保健部長からは、具体的なデータに基づき、丁寧に、誠意のあるお答えをいただきました。

今後のシルバー事業運営は、若さと実行力のある名誉会長・参与のご理解とご支援により、安定した基盤づくりに大きな期待が持てる予感がしました。



女性委員会視察研修

7月19日(木)女性委員会メンバー10名は狛江市シルバー人材センターを訪問しました。

森田常務理事のあいさつがありお互いの自己紹介の後、委員会についての意見交換をしました。狛江市SC設立は昭和53年、会員数は600名弱、理事会、専門委員会構成や事務局体制など当センターとほぼ同じような運営のようでした。

女性委員会「アカシア」は3年前に立上げ、例会は毎月行い家事援助、就業促進、会員増強、技術向上、親睦ボランティア活動など多岐にわたり、委員会メンバーがそれぞれの役割を分担され、熱心に立ち向かわれておられ、また女性次長さんの意欲満々たる姿勢には圧倒される思いも感じました。

特に衣服工房「ひまわり」のリフォームとイージーオーダーが繁盛だそうで、2年前「月刊シルバー人材センター」や「朝日新聞多摩版」に掲載されてから遠方よりも注文があるとのことです。工房内には出来上がった製品のドレスやシャツなどが沢山ありました。

会員数が少ない分、事務局担当者と会員のつながりも深く、センター行事のPR等は、市報の掲載も多く市民との交流など頻繁に行われているようでした。

女性委員会として初めての視察研修は、大いに勉強になり今後の活動に大変参考になりました。



第52回府中市商工まつり

8月3日（金）～5日（日）の3日間、午前10時～午後7時まで大國魂神社境内で第52回府中市商工まつりが、多数の市民の方が集い盛大に開催され、当センターも例年通り参加しました。

3日午前10時、花火打ち上げ、市長ほかによるテープカット、商工まつり実行委員長によるくす玉割りとともに商工まつりは、華々しくスタートしました。

「みんなの笑顔が府中の元気！」を合言葉に関係者と一般市民が協力し合って盛り上げた今回の商工まつりは、例年にも増して充実した一大イベントでした。

当センターは会場入り口左側のテントで、センターPR、入会・就業相談、福引抽選会、スーパーボールすくいを3日間通して、総務、業務、広報、地域、安全、女性の各委員及び事務局が担当して実施、多くの来客を得ることができました。また小物販売はすぐ隣のテントで2日間実施し相当の手応えを感じたようでした。

連日うだる猛暑であり、一時夕立にも遭遇したが、久しぶりに復活の福引抽選会も含めて、極めてスムーズな運営が実現でき、商工まつりの一端を飾ることができました。



平成24年度安全大会に参加して

7月13日（金）午後1時30分から東京しごとセンター地下2階講堂で「平成24年度シルバー人材センター安全大会」が約180名の出席で開催されました。

今年7月に新しく就任した安藤理事長の挨拶で始まりました。

表彰式

安全就業優良シルバー人材センター
調布市シルバー人材センター
瑞穂町シルバー人材センター
の2団体が表彰されました。

安全就業標語

「ヘルメットの着用」では、杉並区SC会員の「ヘルメット着けるマナーで踏むペダル」

「各地区の実情にあわせたテーマ」では、多摩市SC会員の「口ほどに達者じゃないよ足と腰」がそれぞれ優秀賞で表彰されました。

平成23年度の「事故概況の報告」

安全就業パトロール指導員の丸山指導員から報告がありました。

事故件数は最近大幅に増加しております。

傷害事故のうち、就業中の事故は多い順に①屋内清掃②植木③屋外清掃④施設等の管理となっています。

賠償責任事故は多い順に、①植木②家事援助③屋内清掃④除草・草刈となっています。

安全就業に関する事例発表

調布市シルバー人材センター事例

1. 職群班52班のリーダーが中心で運営。
2. 職群班固有の安全対策を推進。
3. 安全パトロールは職群リーダーが確認。
4. 事故発生のつど安全懇談会を開催し事故当事者を呼び原因究明再発防止措置を検討等。

安全就業で職群リーダーが中心で運営していることは、大変参考になりました。

第13回安全推進大会に参加して

去る7月20日恒例の安全推進大会がふれあい会館で開催されました。

西隈副会長、澤村安全委員長のあいさつに続いて、今回は府中市災害対策担当の長谷川講師から「市民の防災対策について」と題しての講演を拝聴。今回は昨年の3・11の「東日本大震災」の被害の甚大さに因み、わが町府中の危険と防災について、また個人の心構え、準備、避難について次の話がありました。

①「東日本大震災の規模の大きさ」
②「東日本大震災に何を学ぶか」
③個人の対策は災害時の「行動パターンを決めておく」
④「日頃から地震に備えよう！」
⑤「火災に対して」　火災は人災
⑥「水害に対して」



「ゆうゆう便り」

平素より「ゆうゆう」へのご支援・ご配慮ありがとうございます。8月からは新メンバーが加わり男性1名、女性4名のスタッフが仕事に取り組んでいます。

店内の一か月の様子をご紹介させていただきます。

まずは「洋服のリフォーム」です。毎週月・水・金曜日の週3回、親切で丁寧な作業で、ますます、リピーターのお客様も増え、大変喜んで頂いております。次に「書道教室」。大人の書道教室は第1・2・3火曜日の午前です。大人の落ち着いた雰囲気で『書』に励んでいらっしゃいます。子供書道教室は第1・3土曜日の午前・午後(2回)と3コースありますが、希望の方が多く現在キャンセル待ちの盛況です。第2土曜日は「布ぞうり教室」。第4土曜日は「刃物研ぎ」。切れあじは最高と、リピーターのお客様が増えました。そして、第2・第4木曜日は手作り班の皆様が集い、小物作りなど楽しまれています。このように店内を有効に活用出来ることはとても喜ばしいことです。

皆様は「ゆうゆう」の店内の壁面をご覧になったことがございますでしょうか？会員の絵画・書・写真などを展示しています。季節・季節の作品などで目を癒させてくれています。そして、ショーケースの中は会員手作りの作品です。こちらも季節に合わせた小物等もあり見てるだけでも楽しいものばかりです。まだまだ余裕がありますので展示・販売させていただきます。また、会員への「しごと情報」も掲示してありますので、ぜひ、ご来店をお待ちしております。

その他に府中市の委託事業である「粗大ごみシールの収集受付販売」「ごみ袋の販売」も取り扱っております。

最後に「お助け隊」事業がスタートし、「ゆうゆう」が受付窓口となりました。近隣の地区へのチラシ配りをして、早速、問合わせや依頼の電話が鳴りました。お助け隊の会員の方もとても張り切って仕事をされています。

「働く会員の職場訪問」
「グリーンプラザ」

代表の清水さんの声かけで、休館日にも係わらずグリーンプラザで働く8名の会員全員が今回の取材に参加してくださいました。

お1人ずつ、楽しく、明快に話をされ、働くことにやりがいと喜び誇りを感じている様子が伺えました。職場歴が数か月から数年という方まで、みなさんが一体となって笑顔で話される様子にチームワークの良さが溢れていました。

一日三交代で、地下2階～7階までのホール、展示室、会議室等の管理を行う。鍵の対応だけでも毎日24～25件もあるという。会議室の表示や照明、プロジェクター、スクリーンやテレビ、カラオケなどの設置や準備など力仕事も多いそうです。

仕事内容の引継ぎがきちんとなされ、新しい方々も責任を持って仕事を行っていけるとのこと。清水さんは「ワンフォー オール・オール フォー ワンの精神が大切です」と語ってくれました。また秦満里(はたまり)館長も「おもてなしの心」を忘れず仕事に向き合う大切さを話してくださいました。



交通安全パレード

9月8日府中警察署、府中市、府中交通安全協会による交通安全パレードが行われました。

当センター会員は、午後1時30分に府中郵便局のけやき並木反対側のスーパーマーケットの前に、本間会長、西隈副会長をはじめ会員が40名程参加されました。

午後2時頃から郵便局前のけやき並木を大國魂神社方向にパレードが始まり、府中市内の小学生による楽器演奏行進が花を添え、大変楽しい雰囲気でパレードができました。約30分程でフォーリス前まで行進、広場で式典が始まり市長、警察署長、交通安全協会会長が式典のあいさつをされました。自転車による事故と高齢者が関係する事故が急速に増加しているそうで、事故を減らす重点課題を話されました。

第2部は、府中市内の保育園児の楽器演奏をはじめ、小学生もハイレベルな演奏で会場を盛り上げました。



住吉地域懇談会

好天に恵まれた7月21日の午後、参加者33名により開催することができました。

今回の「特別企画」として府中市環境安全部防災課から、矢野東寛恭氏を講師に招き「防災知識講座」を開きました。

当節の関心事とあって、会場は熱気に溢れ、充実の2時間でした。

引き続き渋谷事務局長より平成23年度実績について、主な課題や今後の主な行事予定について、説明・解説を受け、質疑応答に移りました。

また就業開拓専門員の橋本正之さんより就業環境の厳しさや、その実情についての話しがありました。



片町地域懇談会

7月28日(土)午後1時から美好町1、2丁目公会堂において開催されました。西隈副会長のあいさつに続き渋谷事務局長からの平成23年度実績、会員数・事業実績と就業の拡大と適正な就業について、地域社会奉仕活動への参加・促進と安全就業と各自の健康管理に気をつけてほしいと報告がありました。続いて地域班長および出席会員全員の自己紹介と、質問・討論。交流懇談会では就業年齢に制限があるのかの問いに、安全上の判断で、特に危険を伴う植木の手入れや自動車運転などは、78歳や80歳以上の就業は基本的に断っていますとのことでした。

就業募集の「しごと情報」は、毎月のメール便で月に1回配布されるが、人気の高い職種はすぐに決まってしまうので、早い申し込みが必要です。今は事務局の入口に大型モニターで順次新しい情報を掲示しているので、事務局に多く足を運んで、仕事情報をチェックしてほしいなど意見交換がなされました。

第2部では「元気一番！介護と予防」をテーマに認知症の講義や予防ストレッチ、血管年齢や握力の測定等を地域包括支援センター「泉苑」の指導支援を受け和やかに行われました。

武蔵台地域懇談会

7月30日開催、会員24名、担当理事、事務局4名(渋谷常務理事・三坂地域担当理事・山本就業開拓推進委員・小谷田)の懇談会を開催しました。

渋谷常務理事のあいさつ、三氏の自己紹介と各担当業務内容の説明。地域委員新班長を含む各班長の紹介がありました。

常務理事よりは、昨年度の事業実績・法令遵守に基づく適正就業・ボランティア活動参加と促進・安全就業と健康管理・今後の主な行事予定等についての話がありました。

地域委員より、緑の活動ボランテイアの活動報告と会員募集がありました。

会員の自己紹介と要望・質問では

①「ゆうゆう」の事業内容。

アンテナショップの役割、市役所の簡易窓口、手作り班、書道教室、お助け隊としての活動。

②植木作業の就業に関する要望その他が出されました。

③ルールに基づく受注・就業が大切。

④シルバーの守備範囲を心得て就業することが大切等。

会員の皆様と初参加の方もいて、暖かい交流が図られた懇談会でした。

四谷地域懇談会

9月1日(土)午後1時より四谷一丁目自治会館に於いて開催されました。暑気払いと銘うっての懇談会でしたが定刻通り、小泉班長の司会で開催されました。

本間会長、橋本就業開拓員の参加をいただき、会長から23年度実績、現況の説明、課題として就業の拡大、信頼される適正な就業、ボランテイア活動への参加、安全就業と健康管理について。丸山担当理事から会員の異動、各班長の紹介、ふれあい旅行への積極的参加の呼びかけ。地域担当委員からボランテイア活動の模索、計画、府中警察情報(振り込み詐欺、侵入盗被害、自転車事故の裁判判例)等など。

続いて出席者との意見交換、質問、提言、自己紹介(就業の状況感想)のほか順次全員から発言がありました。休憩の後、よつや苑介護予防事業担当者の指導による介護予防ストレッチ手法などの講話を受け、最後に四谷地区応援歌の大合唱でフィナーレ。

是政地域懇談会

10月4日(木)午後1時30分から、是政文化センターにおいて、本間会長、事務局、橋本就業開拓員の出席を得て、開催されました。(会員出席数25名、事務局を加えて合計29名)

初めに、会長および事務局からセンターの状況報告があり、就業問題(適正就業と法令遵守)、地域ボランティア活動の事例説明に加えて、朗報は、現在本宿町にあるワークブランチの老朽化に伴い、小柳町の市施設の一角に、来年4月から移転を計画中とのことです。

恒例の出席者自己紹介に続いて、出席会員からそれぞれの問題テーマが発表され、対策として各就業現場でのマニュアル・ルール作りの必要性等の提案がありました。そのほか、今後の懇談会のあり方について議論の対象が深まるところです。

最後は、竹内担当理事の閉会のあいさつで、2時間に及ぶ会合を無事終了しました。



けやき並木ボランティア清掃

「馬場大門のけやき並木」は昔から市民のシンボルであり、誇りであり、市民を潤わせてくれていていつも大切にしている並木です。

10月19日(金)早朝、夜来の風雨に変わって、秋空の下、街の美化に心を寄せる会員60余名が、みずほ銀行前に集まり、本間会長のあいさつの後感謝をこめて恒例の「けやき並木ボランティア清掃」を実施しました。

当日は市の環境美化強化運動日に当たり、市の職員、関係団体の方々も多数参加され、市の広報車までPRに加わりました。

担当する地域を区分して、一斉に竹箒を持って、清掃を始めました。樹木の葉も黄金色に染まりはじめていましたが、市民の美化運動の成果のためか、昨年ほど多くの落ち葉はありませんでしたが、通りのあちこちから、袋一杯の落ち葉が集められ、1時間ほどでビニール袋がどれも一杯になりました。

朝一番、並木通りが掃き清められ、気持ちの良い並木通りになりました。参加会員のみなさんお疲れさまでした。

市民一人ひとりが、このすばらしい誇れる並木をこれからも大切に守っていきましょう。



パソコン無料講習を始めました

当センターのパソコン職群では、公益法人後の社会奉仕活動の一環として、一般市民や会員向けにパソコンの無料講習を、この8月から開催しました。

毎月第1と第3日曜日の午前・午後に各2時間で、どなたでも簡単にパソコンを覚えられるよう「初めの一歩パソコン無料講習会」として、開催しております。

8月は「残暑お見舞い」のハガキを作成、9月は「生活に役立つインターネット」の使い方を体験、10月は、「年賀状」の作成をし受講者の皆さんに大変喜ばれています。



教室は、グリーンプラザ地下1階の当センターパソコン教室です。

お申込は、センター事務局に電話で先着順、各講座9名様で受付けております。

これからパソコンを始めたいと希望されている方、パソコンはどうも苦手だとお考えの方でも、これを機会に始めてみてはいかがでしょうか。

発注者や市民が不快になる行為をしていませんか？
会員としての自覚と責任を持ちましょう！

会員一人ひとりが、組織の一員としての自覚を持ち運営しているのがシルバー人材センターです。「この位なら許されるだろう」という安易な行為が、他の会員に迷惑をかけることになります。一人の行為が全体の評価となり、契約の縮小や終了につながります。

次のようなことに気を付け、会員の皆さんが自覚と責任をもって就業し、クレームの防止を心掛けましょう。

こんな会員は困ります。

●仕事の内容、範囲を理解していない。
●いい加減な仕事をする。
●センターへ(報告・連絡・相談)をしない。
●時間にルーズで無責任。
（無断欠勤や休息を頻繁にとる。時間調整をする。）
●あいさつをしないなど接遇態度が悪い。上から目線。
●仕事中に口数が多く、言葉使いが乱暴である。
●協調性がなくチームワークを乱す。
●同僚会員を侮辱したり、怒鳴りつけたりする。
●班長やリーダーの言うことを聞かない。
●タバコを吸いながらの就業や酒気帯び状態での就業。
●毎月一定の収入を当てにし、金銭にこだわった就業を望む。
●以前就業したところから、個人で仕事を請負う。
●センターの社会的信用を著しく損なう言動をする。
（セクハラ行為や暴力行為）

平成24年度主な行事予定

実施月　行事名
1月　第2回安全推進大会
2月　ふれあい作品展

ふれあい作品展 作品募集します

《開催日時》
平成25年2月15日から18日
《開催場所》
府中グリーンプラザ5階展示ホール
《作品募集内容》
対象：60歳以上の市民
種別：洋画、日本画、版画、書、写真
　工芸等（生花不可）
募集点数：100点（一人1点・先着順）
　出展料は無料です。
受付期間：平成24年11月15日～12月14日
申込み：センター窓口にある出展申込書に必要事項を記入の上提出

■シルバー川柳

押すなとは言えぬ俵の大銀杏
舞妓はんだらりの帯に揺れる腰
　岡 莞弥

俳句

贅沢ならちゃんちゃんこ着て四畳半
点々と山が膨らむ樹氷かな
花けぶる尻から牛の立ち上がる
窓越しにティファニーの春淡きこと
扁額に手を掛けたれば紋白蝶
　岡 莞弥

（会員からの川柳・俳句を募集しています。）

編集後記

巻頭は、新府中市長高野律雄様とセンター役員との初めての懇談会の状況記事を紹介。

恒例の各地域懇談会も10月で24年度がすべて終了、活発な討議様子を伺うことができます。

第52回府中市商工まつりで当センターのブースは福引抽選会の復活が加わり、会期中の3日間盛会裏に終了した模様、今後も全会員の積極的な参加が期待されます。

（広報委員会　三坂）



交通安全パレード



安全パトロール



商工まつり



商工まつり



介護予防の握力測定



片町地域懇談会



けやき並木ボランティア清掃



けやき並木ボランティア清掃

ホームページ　http://www.fsc.or.jp/
Eメール　fsc@fsc.or.jp